

タイトル：『汐製菓会社の新作50
羊羹5』

シーン：発端

（オフィス。汐がデスクに座り、頭を抱えている。彼の前には数種類の試作羊羹が並んでいる。塩田は困った顔をしている）

汐：「つまらん、つまらん！これじゃ、面白い新商品にならない！」

塩田：「社長、すでに50種類試作しています
が……。次は何をお考えですか？」

汐：「よし、杏仁豆腐味の羊羹を作ろう！」

塩田（驚いて）：「杏仁豆腐味……ですか？そ
れ、羊羹と合うんでしょうか？」

汐（自信満々で）：「合うに決まってるだろ
う！だって杏仁豆腐も和スイーツの仲間だろ
う？」

塩田（小声で）…：中華ですけど。」

汐（聞こえてない）…：「和と中華が合わさるんだ、斬新じゃないか！日本だけじゃなく海外にもウケるはずだ！」

塩田…：「確かに新しいですけど、それで本当に大丈夫ですか？」

シーン？：試作開始

（キッチン。汐は杏仁豆腐の成分を羊羹に練り込む試作をしている。塩田は少し心配そうに見守っている）

汐…：「杏仁の風味を羊羹にブレンドして…うん、これで完成だ！」

塩田（半信半疑で）…：「本当にこれで良いんでしょうか？」

汐：「心配するな！完璧だ！次は試食会だ。
全国各地の人々、そして海外の人にも味わっ
てもらおうんだ！」

塩田（驚愕して）：「えっ！？いきなりそこま
でやるんですか！？」

汐：「さあ、準備だ！」

シーン③：国内試食会

（試作が完成し、社内試食会が開かれる。社
員たちが新作「杏仁豆腐味の羊羹」を前に
座っている）

汐：「みんな、これが新しい『杏仁豆腐味の羊
羹』だ！食べて感想を聞かせてくれ！」

（社員たちは恐る恐る羊羹を口に運ぶ）

社員A：「ん…意外と杏仁豆腐の味がしっか
りしますね。でも、羊羹として考えると、少し
不思議な感じが…」

社員B：「これ、どこかで食べたことがある気がします…あ、杏仁豆腐だ！」

社員O：「うーん…でも、ちょっと甘さが控えめな方が良いかも。」

（塩田が試食者たちの反応を不安げに見守る）

塩田（心の中）：「やっぱり無理があったのかも…」

汐：「よし、悪くない！次は世界だ！」

塩田（驚いて）：「えっ！？次はもう海外ですか？」

シーン④：国際試食会

（場面転換。汐製菓は海外からの試食者を集めた国際試食会を開催。会場は賑やかで、各国の人々が集まっている）

（参加者たちは、テーブルに並んだ「杏仁豆腐味の羊羹」を前に興味津々の様子）

汐：「さあ、これが日本から生まれた新感覚羊羹、『杏仁豆腐味』だ！どうぞ召し上がってください！」

（まずはアメリカ人グループ）

アメリカ人A：（羊羹を食べて驚いた顔）：「オマイガー！これ、杏仁豆腐の味がするけど、食感が全然違う！」

アメリカ人B：「デザートなのに、しっとりしてるけどプルプルしてなくて、これは…なんだ？」

汐（自信たっぷり）：「新しいだろうか？」

アメリカ人C：「イエス、ニュー！…でも、もう少し甘い方が好きかな。」

（次にフランス人グループ）

フランス人A(試しに一口)：「ムムツ…これは杏仁豆腐の味だが、確かに食感は日本的だな。興味深い。」

フランス人B：「お茶と一緒に食べると…これ、実はとても合うかもしれない。」

(次に中国人グループ)

中国人C(興味津々で食べて)：「お、杏仁豆腐の味がするけど、これは…羊羹！？すごく不思議な感じ！」

中国人D：「うん、これは…確かに斬新だね。でも、杏仁豆腐をそのまま食べる方が好きかな。」

(塩田が少し心配そうに見守っているが、徐々に試食者たちのポジティブな反応に驚く)

塩田(心の中)：「もしかして、いけるかも…?」

シーン5：結果発表

（試食会が終わり、結果が発表される。参加者たちがコメントを述べる）

アメリカ人A：「食感が面白いけど、アメリカでは少し甘さを足した方が受け入れやすいかも。」

フランス人B：「私はこのコンセプトが好きだ。特にお茶と合わせると素晴らしい。」

中国人C：「面白い組み合わせだね。日本と中国の融合を感じた。」

（塩田は驚きつつも、少し安堵する）

塩田：「意外と好意的な反応ですね…」

汐（笑顔で）：「そうだろう！やっぱり新しいアイデアは世界共通なんだ！」

シーン6：次なる計画

（数週間後。オフィスに戻ると、海外からの注文が増えており、商品は徐々に成功し始めている）

汐：「見ろ、杏仁豆腐味の羊羹が好評だ！次はさらに進化させて、パクチー味の羊羹を作るぞ！」

塩田（驚愕して）：「パ、パクチーですか！？それはさすがにやりすぎじゃ…！」

汐（笑顔で）：「やりすぎなくらいがちょうどいいんだよ！」

（塩田は頭を抱えつつ、諦めたように笑う）

塩田：「もうどうにでもなれ…！」

（～人の笑い声が響き、幕が閉じる）

終わり